

地球にECO(いーご)としよう



省エネグループ通信



出前授業を開始・・・授業は、オーダーメイドにも対応・・・

2013年度も、環境出前授業を開始しました。今年も出前授業の希望調査は他の活動グループも含めて、川崎市地球温暖化防止活動推進センターで行っています。4月に前出授業の希望調査のアンケートの内容を検討し、5月に入って省エネグループおよび他の活動グループのプログラム内容も記載した一覧表、希望日等記入用紙を同封して、市内全校の小学校へアンケートを送付しました。

省エネグループの教材は、パワーポイントで作成し、「温暖化とは～見て、触れて、感じて～」、「節電にみんなで取り組もう」「エネルギーってなあに?」「はっぱはえらい」

省エネグループのプログラム



の4プログラムで、毎年最新データを盛り込んでリニューアルしています。特に、今年は「はっぱはえらい」を全面的に見直しました。

学校からアンケート用紙が返却されて来ると、出前授業を希望された学校の5年生窓口担当の先生と連絡を取り、事前打合せの日時を決定します。約束日に学校を訪問して先生方へ省エネグループの紹介、出前授業のプログラム内容の説明をします。授業は、パワーポイントによる説明が約25分、発電体験が約15分、質問・感想が約5分の合計45分が基本です。2テーマを希望される学校もあり、その場合には90分授業で実施します。プログラム内

容の概要や発電体験の内容など、一通りの説明の後、先生方の授業内容に対する追加・修正などの希望を確認し、可能な限り要望に応じています。

今年は、学校ごとの環境授業の流れの一環として我々の出前授業を組み入れる要望が特に多く、要望に応じて授業内容を組み立てるように積極的に取り組んでいます。つまり、既制服だけを提供するのではなく、オーダーメイドも可能ということです。このような対応ができるのは我々の進化だと思っています。

授業は、クラス別を実施します。7月までに延べ6校、17クラス、576名の子ども達に計945分の授業を行いました。どの学校でも、子ども達は積極的に発言し理解を深めてくれました。発電体験時間になると、どの子ども目の色を変え楽しんでいるのがよくわかりました。電気を作るのは「疲れる、大変だ」と体感し、省エネ・節電の大切さを知ります。感想の時間には、「節電をしたい」「節水をしたい」などの発言が聞かれます。

授業後に行うアンケートでは、授業が分かり易いなど多くのコメントが寄せられています。現在、アンケートは分析中で、9月に入ってから、学校へ報告する予定です。



夏休みエコライフ・チャレンジ

今年は1700名超の児童が参加

夏休みエコライフ・チャレンジは、夏休みの間に児童の皆さんに、省エネの項目や期間を決めてエコライフにチャレンジしていただくものです。その間できるだけご家族の皆さんとも話し合っていていただき、省エネ意識を家族みんなで高めてもらえるような企画で、省エネグループの伝統的な取り組みです。

2013年度は、5月に川崎市環境局と協働で、市内の各小学校に夏休みエコライフ・チャレンジの参加を募りました。参加校を増やすため、省エネグループ員による昨年度実施校への電話での参加依頼、さらに出前講座を希望している小学校との打ち合わせ時に夏休みエコライフ・チャレンジへの参加も個別に依頼しました。さらに、夏休みの自由研究を行ったときには、参加を呼びかけ、あらゆる機会を使って募集活動を行いました。

また、夏休みエコライフ・チャレンジの成果をあげるため、資料はカラー印刷とし、先生に事前の趣旨

説明や、出前授業時に児童の皆さんに直接やり方などを説明しました。

積極的な募集活動の結果、昨年度12校・958名だった参加者が、今年は17校・1767名に増えました。しかし市内113校ある小学校の約15%が実施しているに過ぎません。今後はどうしたらもっと参加していただけるか、いろいろ検討を重ね、より省エネ意識の普及を図っていききたい。



小学校児童への説明風景

町内会などでの学習会

今年度の第1回学習会は6月5日「わかいの会」で行いました。

「わかいの会」は、川崎市麻生区および周辺に在住し、平成21年の「定年退職者セミナー」に参加したメンバーが中心になり、結成されたシニアのグループです。省エネグループの八木代表もメンバーです。毎月定例会を開催し、種々活動を積極的に展開しています。6月5日午前の定例会に時間を頂き、勉強会を開催しました。

「わかいの会」は19名の方が参加くださり、質問や意見が色々あり、和やかな勉強会となりました。プログラムは、①地球温暖化について ②私たちの暮らしとエネルギー ③家庭の節電と省エネ ④電気料金の仕組み ⑤マンション共有部の節電省エネの方法 です。このうち、節電・省エネ、電気料金の仕組み について、特に興味を持ってもらえたと思います。終了後には、「うちエコ診断を受けたいが、無料か？」との質問もあり、本気で考えてくださったと、うれしく思いました。

(注)うちエコ診断は無料です。4ページの連絡先にお申込みください。



夏休みの自由研究を開催

燃料電池とレモン電池をつくろう！！

8月17日、溝の口のCCかわさき交流コーナーにおいて、午前は「燃料電池を作ってみよう!」、午後には「レモン電池でオルゴールをならそう」とのテーマで行いました。

「燃料電池を作ってみよう!」

電気と電池の違いや水素の燃焼実験などの説明のあと20人の小学生は、水の電気分解に取り組みました。水を入れた蓋付きカップに差し込んだ電極の鉛筆2本に9Vの電池をつなぎ水素をつくと、オルゴールや2個直列でLEDランプも点灯しました。出力は小さいが電気が作られ燃料電池を実感したと思います。電球の節電などを体験して講座は終了しました。

「レモン電池でオルゴールをならそう」

参加の24人の小学生は、エネルギーとCO2削減を勉強した後、まずレモン半分に亜鉛と銅の電極を差し込むとオルゴールがかすかに鳴り、お母さんも一緒に耳を傾けました。2個のレモンのセットの直列接続でオルゴールは響きだしました。レモンの代わりニンジンもいいと学んだので、家で試した子どももいたのではないのでしょうか。クイズにも挑戦して笑顔のあふれる講座でした。



お父さんもお手伝い

燃料電池を作ってみよう!



レモン電池でオルゴールをならそう

大盛況のイベント

8月までに、7/7川崎市国際交流センターの「2013インターナショナル・フェスティバル」、8/4「生田緑地サマーミュージアム2013」、8/18ノクティ1前でのイベント、8/19多摩区役所の「夏休み!多摩区エコフェスタ」、8/24エコ暮らし未来館の「未来館環境教室」の5ヶ所のイベントに出展して、省エネ・節電さらには地球温暖化防止の啓発活動を行いました。

発電体験では、ブースを訪れた小さな子供から大人まで、多くの方が体験していました。自分で電気を作ることは、大変なことだと知り、エネルギーは大切に使うべきだと実感されたようです。また、電気の見える化では、白熱電球・電球型蛍光灯・LED電球で電気代が大きく違うことを自分の目で確認し、「こんなに違うのか」との多数の感想がありました。

また、今年新たに加えた「燃料電池」のデモンストレーションも、多くの方の興味と関心を引き、熱心に説明員の話しに聞き入っていました。

9月以降も各地で開催されるイベントに出展していく予定です。



インターナショナル・フェスティバル



生田緑地サマーミュージアム



ノクティ1前イベント

省エネグループ内の勉強会

太陽電音株社長木村康廣氏の講演

7月25日の定例会では、太陽電音株の木村社長をお招きし、「自然エネルギーの開発と活用～風力発電の利用と展望～」と題して講演をしていただきました。

地球にやさしい自然エネルギーの開発を社業にし、社長自ら現場に立ち開発から実験・施工まで指揮をなされています。風力・太陽光発電システムの試作段階からの課題や、「風車」の技術的な特徴、発電機の原理、強度・信頼性の試験などなかなか聞けない苦労話など、とても興味深いものでした。

太陽電音株は川崎市の地場企業として毎年「川崎国際環境技術展」などイベントに参加され、「川崎ものづくりブランド」企業にも認定されています。また、風力発電機の川崎市での設置事例として中原区役所の庭に「看板LED照明の電源」があります。ぜひ見学してください。



地球温暖化防止活動の

環境大臣表彰ロゴマークに応募

省エネグループでも、小松原洋子さんの4作品に応募しました。採択(221作品のうち1点)には至りませんでしたが、とても素晴らしい作品です。当グループは今後の活動にこのロゴを使います。

「作者の思い」

地球温暖化防止のロゴの応募を決心した時、私の脳裏に浮かんだのは「地球の命を①『永久』に守るためには、人間の②『愛情』と知恵と③『協力』が欠かせない」という思いでした。そこでテーマを「HOTからCOOLへ」とし、①から③を念頭に三つの作品を考えました。さらに少しでも単純化したかった私は、ギリギリで④『ホットな地球をクールな布が覆う』というコンセプトで4つ目を仕上げ提出しました。素人の私が仲間達のおだてに乗って、まさに豚が木に登りました。



③『協力』を表現

省エネグループのホームページを リニューアルしました！！

なかなかメンテナンスが出来ていなかった「省エネグループのホームページ」でしたが、8月に大幅リニューアルしました。省エネグループのシンボルマーク「ECO(いーこ)」マークがお出迎えします。出前授業のご案内や、今後のスケジュールを載せています。活動報告は、ブログの中で見ることができます。また、今までの省エネグループの歩みも掲載する予定です。乞うご期待！どうぞ遊びにいらしてください。



—ご意見をお寄せください—

本紙に対する、ご意見、ご要望、ご感想、更には皆様のエコ情報・体験などを下記へお寄せください。

皆様と共に、地球環境を維持するため、「楽しく、かっこよく、得する」エコを実践していきたいと思っています。

連絡先

川崎市地球温暖化防止活動推進センター 省エネグループ
〒213-0001 川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 高津市民館内
TEL 044-813-1313 FAX 044-813-1350

E-mail : office@kwccca.com

ホームページ : <http://syo-ene-group.sunnyday.jp/homepage/>

発行責任者: 省エネグループ代表 八木洋一

